平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名　太陽誘電株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6976　URL　http://www.ty-top.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）神崎　芳郎
問合せ先責任者（役職名）財務経理部部長　（氏名）横田　年昭　TEL 03-3832-0101
四半期報告書提出予定日　平成21年8月7日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	42,587	△17.0	△1,204	―	△1,865	―	△2,467	―
21年3月期第1四半期	51,282	―	1,876	―	2,567	―	904	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△20.99	―
21年3月期第1四半期	7.61	7.06

(注) 22年3月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	234,599	137,166	58.3	1,161.96
21年3月期	225,451	139,435	61.6	1,181.28

（参考）自己資本　22年3月期第1四半期　136,673百万円　21年3月期　138,884百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
22年3月期	―				
22年3月期（予想）		5.00	―	5.00	10.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	91,500	△16.4	0	―	△1,000	―	△3,000	―	△25.51
通期	184,000	△0.8	0	―	△2,000	―	△6,000	―	△51.01

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	120,481,395株	21年3月期	120,481,395株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,858,128株	21年3月期	2,910,398株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	117,582,859株	21年3月期第1四半期	118,763,287株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期の当社グループを取り巻く市場環境は、昨年秋以降のマクロ経済の急速な悪化に伴う大規模な在庫調整が一段落し、受注は回復傾向にあるものの、前年同期との比較ではパソコン、携帯電話、テレビをはじめとする全ての機器、部品で受注が減少しました。

このような状況下、当社グループは、４つの事業部門において以下のような取り組みを行いました。

コンデンサは、主力の積層商品群において生産性改善を主体とした原価低減の推進と、売上の拡大を目指した市場開拓強化などの体質強化に取り組んできました。フェライト及び応用製品は、デジタル機器の電源回路向けに巻線インダクタの販売拡大と安定供給に努めてきました。モジュールは、Bluetooth®モジュールや無線ＬＡＮモジュールなどの商品力強化を加速、推進してきました。記録製品は、引き続き生産性改善、品質の強化などに取り組み、信頼性の高い商品の安定供給と更なるコスト低減に努めてきました。

当第１四半期の連結売上高は425億87百万円（前年同期比17.0％減）、営業損失は12億４百万円（前年同期は営業利益18億76百万円）、経常損失は18億65百万円（前年同期は経常利益25億67百万円）、四半期純損失は24億67百万円（前年同期は四半期純利益９億４百万円）となりました。

当第１四半期における期中平均の為替レートは１米ドル97.80円と前年同期の平均為替レートである１米ドル102.57円と比べ4.77円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

［コンデンサ］

積層セラミックコンデンサをはじめ、各種コンデンサが含まれます。

当第１四半期は、全ての機器向けの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は186億10百万円（前年同期比20.3％減）となりました。

［フェライト及び応用製品］

フェライトコア、その応用製品である各種インダクタが含まれます。

当第１四半期は、部品向けの売上が前年同期比でやや増加したものの、パソコン、携帯電話、テレビ向けなどの売上が減少したことにより、売上高は68億17百万円（前年同期比16.2％減）となりました。

［モジュール］

各種電源モジュール、高周波モジュールが含まれます。

当第１四半期は、Bluetooth®モジュールや無線ＬＡＮモジュール、液晶テレビ向けバックライト用インバータモジュールの売上が前年同期比で減少し、売上高は77億93百万円（前年同期比9.1％減）となりました。

［記録製品］

ＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ／ＤＶＤ＋Ｒ、ＢＤ－Ｒが含まれます。

当第１四半期の売上高は、前年同期比でほぼ横ばいの66億83百万円（前年同期比0.3％増）となりました。

［その他電子部品］

製品別区分に属さない製品と関係会社の事業が含まれます。

関係会社における実装事業が売上高の主なものであり、売上高は26億82百万円（前年同期比41.1％減）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）財政状態の変動状況

当第１四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して91億48百万円増加しました。流動資産は117億32百万円増加しており、主な要因は、現金及び預金の増加82億95百万円であります。固定資産は25億84百万円減少しており、主な要因は、有形固定資産の減少34億86百万円であります。

負債は、114億17百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加61億42百万円であります。

純資産は、22億69百万円減少しました。

（２）キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは73億31百万円(前年同期比113.1%増)の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失18億94百万円、減価償却費57億79百万円、仕入債務の増加61億55百万円、売上債権の増加49億54百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは31億51百万円(前年同期比69.6%減)の支出となりました。主な要因は、固定資産の取得27億27百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは38億75百万円(前年同期比28.1%減)の収入となりました。主な要因は、短期借入金の純増加29億60百万円、セール・アンド・リースバックによる収入16億55百万円であります。

以上の結果、当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して77億72百万円増加し、408億83百万円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成21年５月14日に公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成21年８月６日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第１四半期末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,401	37,105
受取手形及び売掛金	37,773	32,784
商品及び製品	11,142	10,629
仕掛品	8,745	9,474
原材料及び貯蔵品	10,415	10,180
その他	5,290	6,841
貸倒引当金	△210	△191
流動資産合計	118,557	106,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,498	63,218
機械装置及び運搬具	184,645	184,245
工具、器具及び備品	18,538	18,514
土地	7,847	7,853
建設仮勘定	6,046	6,471
減価償却累計額	△177,385	△173,627
有形固定資産合計	103,190	106,676
無形固定資産		
のれん	670	731
その他	578	600
無形固定資産合計	1,248	1,332
投資その他の資産		
投資有価証券	4,558	3,510
その他	7,349	7,403
貸倒引当金	△305	△296
投資その他の資産合計	11,602	10,616
固定資産合計	116,041	118,625
資産合計	234,599	225,451

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,973	7,831
短期借入金	16,828	13,868
1年内返済予定の長期借入金	7,450	6,924
未払法人税等	1,651	1,328
賞与引当金	607	1,021
その他	10,463	9,353
流動負債合計	50,975	40,327
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	19,527	20,115
退職給付引当金	1,694	1,515
役員退職慰労引当金	120	116
負ののれん	113	120
その他	5,001	3,819
固定負債合計	46,457	45,687
負債合計	97,433	86,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,557	23,557
資本剰余金	41,471	41,450
利益剰余金	94,739	97,840
自己株式	△3,576	△3,643
株主資本合計	156,192	159,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	329	△550
繰延ヘッジ損益	9	△6
為替換算調整勘定	△19,857	△19,762
評価・換算差額等合計	△19,519	△20,320
新株予約権	248	303
少数株主持分	245	247
純資産合計	137,166	139,435
負債純資産合計	234,599	225,451

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
売上高	51,282	42,587
売上原価	40,477	36,365
売上総利益	10,804	6,221
販売費及び一般管理費	8,927	7,426
営業利益又は営業損失（△）	1,876	△1,204
営業外収益		
受取利息	199	69
受取配当金	42	21
持分法による投資利益	1	0
為替差益	448	－
助成金収入	－	97
その他	193	60
営業外収益合計	886	249
営業外費用		
支払利息	117	160
為替差損	－	676
その他	77	73
営業外費用合計	194	909
経常利益又は経常損失（△）	2,567	△1,865
特別利益		
固定資産売却益	4	23
補助金収入	1,057	－
その他	11	－
特別利益合計	1,073	23
特別損失		
固定資産除売却損	99	46
たな卸資産評価損	1,539	－
その他	31	6
特別損失合計	1,671	53
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,969	△1,894
法人税、住民税及び事業税	624	640
法人税等調整額	432	△64
法人税等合計	1,057	575
少数株主利益又は少数株主損失（△）	7	△2
四半期純利益又は四半期純損失（△）	904	△2,467

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,969	△1,894
減価償却費	6,243	5,779
のれん償却額	60	60
負ののれん償却額	―	△6
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△49	25
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,555	△418
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△66	―
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△6	0
受取利息及び受取配当金	△242	△90
支払利息	117	160
持分法による投資損益（△は益）	△1	△0
固定資産除売却損益（△は益）	95	22
売上債権の増減額（△は増加）	2,478	△4,954
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,332	5
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,523	6,155
その他	3,581	2,848
小計	5,768	7,693
利息及び配当金の受取額	294	71
利息の支払額	△117	△125
法人税等の支払額	△2,504	△308
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,440	7,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△1,820	△491
固定資産の取得による支出	△8,626	△2,727
固定資産の売却による収入	57	25
投資有価証券の取得による支出	△37	―
その他	49	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,376	△3,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,000	2,960
長期借入れによる収入	5,000	―
長期借入金の返済による支出	△22	△62
自己株式の取得による支出	△2,006	△2
配当金の支払額	△595	△588
セール・アンド・リースバックによる収入	―	1,655
リース債務の返済による支出	―	△86
その他	15	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,390	3,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,238	△283
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△307	7,772
現金及び現金同等物の期首残高	35,401	33,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,094	40,883

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

６．その他の情報

製品別売上高

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
コンデンサ	23,354	45.5	18,610	43.7
フェライト及び応用製品	8,131	15.9	6,817	16.0
モジュール	8,577	16.7	7,793	18.3
記録製品	6,662	13.0	6,683	15.7
その他電子部品	4,555	8.9	2,682	6.3
合計	51,282	100.0	42,587	100.0

平成21年8月6日

上場会社名　:太陽誘電株式会社
コード番号　:6976（東証 第一部）
代表者　:代表取締役社長　神崎　芳郎
問合せ窓口　:経営本部　財務経理部
TEL（ 03 - 3832 - 0101 ）

平成22年3月期　第1四半期決算概要

（百万円未満切捨て）

[業績の概要]

期別 / 科目	当第1四半期 (21.4.1～21.6.30)		前第1四半期 (20.4.1～20.6.30)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高	42,587	100.0	51,282	100.0	△8,694	△17.0
営業利益	△1,204	△2.8	1,876	3.7	△3,080	－
経常利益	△1,865	△4.4	2,567	5.0	△4,432	－
税引前当期純利益	△1,894	△4.4	1,969	3.8	△3,863	－
当期純利益	△2,467	△5.8	904	1.8	△3,371	－

1株当たり当期純利益	△20.99　円	7.61　円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	ー　円	7.06　円

研究開発費	1,699　百万円	2,183　百万円	△484百万円	△22.2%
設備投資額	2,727　百万円	8,626　百万円	△5,899百万円	△68.4%
減価償却費	5,779　百万円	6,243　百万円	△463百万円	△7.4%

（注）1 百分比は売上高比であります。
2 当第1四半期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

	当第1四半期 (21.6.30)	前連結会計年度 (21.3.31)	増減	
			金額(百万円)	増減率(%)
総資産	234,599　百万円	225,451　百万円	9,148	4.1
純資産	137,166　百万円	139,435　百万円	△2,269	△1.6
自己資本比率	58.3　%	61.6　%	△3.3ポイント	ー
1株当たり純資産	1,161.96　円	1,181.28　円	△19.32円	△1.6

[製品別売上高]

期別 / 製品区分	当第1四半期 (21.4.1～21.6.30)		前第1四半期 (20.4.1～20.6.30)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	18,610	43.7	23,354	45.5	△4,744	△20.3
フェライト及び応用製品	6,817	16.0	8,131	15.9	△1,313	△16.2
モジュール	7,793	18.3	8,577	16.7	△784	△9.1
記録製品	6,683	15.7	6,662	13.0	20	0.3
その他電子部品	2,682	6.3	4,555	8.9	△1,872	△41.1
合計	42,587	100.0	51,282	100.0	△8,694	△17.0

TAIYO YUDEN